

国際ロータリー第2660地区

吹田西ロータリークラブ ウィークリー 2012-2013

■創立 1980.6.12

事務所 ☎564-0051 吹田市豊津町9番40号 江坂東急ビル1F
☎(06) 6338-0832 FAX (06) 6338-0020
URL <http://www.suita-west-rc.org>

例会場 新大阪江坂東急イン
☎564-0051 吹田市豊津町9番6号 ☎(06) 6338-0109

例会日 毎月曜日 18:00~19:00
役員 会長：坂口道倫 幹事：阿部吉秀 会報委員長：西村元秀



4つのテスト ●真実かどうか ●みんなに公平か ●好意と友情を深めるか ●みんなのためになるかどうか

第1489回例会 平成25年3月18日

卓話 「吹田RAC活動報告」
ローターアクトクラブ 幹事 渡邊 真明 様
永田会員ゲスト
今週の歌「四つのテスト」

先週内容

会長挨拶 坂口会長



がんが増加していますが治療なかなか進歩していません。がんの原因が外（環境因子）からくるものなのか、内（遺伝子）からくるものかさえも解明されていません。最近急増し死亡率の高い肺がんについても諸説ありますので、本日は河邊パスト会長に「たばこ」について卓話をいただきます。

幹事報告 阿部幹事

- ロータリー財団の友3月号が届きましたのでお配りします。
- 1500回記念例会を6月24日（月）梅田北ヤードインターコンチネンタル大阪にて行う事を理事会で承認されました事をご報告致します。
- 次週例会お休みです。お間違えのないようお願い致します。

識字率向上月間

次週 第1490回 例会予告 平成25年3月25日

卓話 日本昔噺第6話「高天原は何処か」 鈴木パスト会長
Weekly No. 1489は西村委員長が担当しました。
Weekly No. 1490は吉田委員が担当の予定です。
(本日の原稿をお渡し下さい)

ゲスト 榎原委員長

大阪リバーサイドRC 富 道雄 様

出席報告 郷上委員長

- 会員数 48名 ●来客 1名
- 出席会員数 33名 ●本日の出席率 75.00%
- 2月4日の出席率（メーキャップを含む） 100%

誕生御祝 - 3月



結婚御祝 - 3月

- 昭和42年 3月5日 吉田会員ご夫妻
- 昭和48年 3月11日 杵本会員ご夫妻
- 昭和48年 3月15日 家村会員ご夫妻
- 昭和61年 3月15日 山岡会員ご夫妻
- 昭和57年 3月16日 西村会員ご夫妻
- 昭和48年 3月18日 高木会員ご夫妻
- 昭和44年 3月23日 宮川会員ご夫妻
- 昭和42年 3月26日 瀧川会員ご夫妻
- 昭和63年 3月27日 榎原会員ご夫妻
- 昭和40年 3月30日 河邊会員ご夫妻

以上10組

社会奉仕委員会 橋本(芳)委員長

2月28日(木) ビケンテクノさんにて献血活動を行いました。いつも社員の皆さんの御協力感謝しています。

月末でもあり少し参加者は少なかったようですが、天候も良く寒さも厳しくはありませんでした。

受付総数は57名で、献血者は43名でした。我々メンバーも参加していただきました。河邊、本田、阪本、橋本(徹)、橋本(芳)各会員の5名でした。今回は残念ながら我々メンバーの献血はありませんでした。けれど会員の社員の方が多く参加していただきました。

(株)ビケンテクノ 40名
尾家産業(株) 6名
泉州電業(株) 2名
(株)大久 1名

御協力ありがとうございました。これからも宜しくお願いします。

ニコニコ箱 山岡副SAA

- ◆西村会員
もうすぐ春になるので期待を込めて。
- ◆水間会員
妻の誕生日のお祝いありがとうございます。
- ◆岡会員
結婚記念日のお花をありがとうございました。
- ◆木田会員
前回欠席しました。すみませんでした。
- ◆山岡会員
欠席のおわび。
- ◆田中(慶)会員
欠席のおわび。

本日のニコニコ箱 18,000円
累計のニコニコ箱 861,591円

卓話

「スリランカ報告」 榎原会員



2013年2月7日～11日まで吹田市・モラトワ市友好都市締結30周年記念ツアーに行ってきました。

吹田西RCより、瀧川パスト会長、郷上会員、青木会員親子、橋本(徹)会員、紙谷会員、高木会員、榎原の8名、吹田市より井上市長、奥谷議員、橋本議員、豊田議員、他5名、合計17名。

8日の記念式典では町をあげての盛大な歓迎をうけました。

1991年に開村したコロンボ郊外ビスワカラにある吹田西ロータリー村も見学してきました。大きな仏像もあり今では2階建ての家も建っており、とても草地の荒地だったとは想像出来ませんでした。小さな子供たちのつぶらな瞳が印象に残っています。

寺の住職より、図書館を作りたいので協力していただけないかと要望がありました。

「煙草」 河邊パスト会長



酒・茶・コーヒー等の嗜好品は栄養摂取を目的とせず、香りや味や刺激を得るための飲食物でたばこもその一つです。それらは好き嫌いの観点で個人の好みに委ねられます。文化面では、人々が嗜好品を手放さないのは、ただ好きというだけでなく、それを手にしたときは生活の潤いやゆとりを感じるからです。また、栄養価のない嗜好品をたしなむのは、その時間をも楽しむからです。その楽しみをより豊かにするために茶器やカップ、パイプなど、さまざまな道具を生み出し、それをより美しく、洗練されたものに仕上げてきました。更に茶の作法、酒宴のもてなし方、たばこのマナーなど、嗜好品をめぐるさまざまな行動様式を作り上げてきました。

もしあるモノが健康に有害だとすると、人々はそれを嗜好品として受け継いでこなかったでしょう。もちろん、酒の飲みすぎがアルコール中毒につながるように、嗜好品の多量摂取が病気につながることはありませんが、人々は自制心を持って嗜好品を摂取することの大切さを学んできたのです。

これまで人々が健康とは無関係にたしなできた嗜好品が科学的に分析され、健康に良いとか悪いとかいわれるようになりました。現在日本は健康を重視する社会であり、その

影響を最も受けているのがたばこです。

広がる喫煙制限

アメリカの報告書やWHOの勧告を受けて喫煙環境が厳しくなるなかで、1970年代から80年代にかけて喫煙を制限しようとする動きが広がりを見せるようになりました。まず、1968年帝都高速広交通営団（現東京メトロ）が地下鉄池袋駅で禁煙タイムを設け、78年には全駅で禁煙へと広げ、その後、私鉄各社へと広がっていきました。国鉄（現JR）では1976年に「こだま号」に禁煙車が、78年に国鉄連絡線に禁煙席が、「ひかり号」に禁煙車が設置されたのは80年です。国内線航空機では1978年に禁煙席が設置され、87年には日本航空が50%を禁煙席にしました。また同年には羽田空港に喫煙コーナーが設置されました。

このような動きのなかで厚生省が1978年「喫煙場所の制度について」の通達を出しています。国立病院、療養所を対象にしたものですが、やがて公共の場所の全面禁止につながる第一歩だったのです。こうしたたばこ排除しようとする運動がしだいに喫煙者を排除しようとする運動につながったのです。喫煙者は病人とみなされるようになり、喫煙者は生活習慣病という病気の一つになったのです。

我が国のたばこ事情

たばこはアメリカ先住民が吸っていたものでコロンブスがアメリカから持ち帰ったと言われています。その後、ヨーロッパで普及し、ポルトガルやスペイン、アジアに進出することによって我が国に16世紀後半に伝来したと言われます。それが急速に人々のあいだに広まり、たばこ耕作も盛んになりました。

喫煙禁止令

江戸時代初期1605年から1616年の11年間で8回喫煙の禁止令や栽培の制限が出されています。その理由は浪費や怠惰を助長する、キセルが犯罪の道具になる、火事の原因になる等で8回の発令にもかかわらず効果はなかったようです。1900年に「未成年者喫煙禁止」が施行され、満20才未満の者が喫煙することが禁止されるようになり、この法律は現在も効果を持っています。

たばこ耕作の奨励

政府は富国強兵策を進めるため財源として、1875年「煙草税則」を公布し翌76年の全租税

額に占めるたばこ税の割合は0.5%でしたが、その後の改正により、たばこ税の割合は高まり、92年には3.2%に達した。しかし、脱税などにより、当初の目的は達せられなかったことや、日清戦争（1894年～95年）後の財政課題に対応するため、98年に「葉煙草専売法」が施行されました。これによって98年の5.2%から1903年には10.2%まで高まり、日露戦争が勃発した1904年には「煙草専売法」が施行され、葉たばこ生産からたばこ販売まで完全専売となり、同年の専売納付金の割合は14.1%まで高まりました。

たばこ産業の概観（平成22年）

日本で販売されているたばこは国産品と輸入品とに分けられ、そのシェアは国産品が64.1%、輸入品が35.9%でこれは本数でカウントされています。（パイプたばこ及び葉たばこは1gを1本、刻みたばこ、かみ用及びかぎ用の製造たばこは2gを1本と換算します）

国産たばこは材料の葉たばこは耕作農家（10,801戸）と売買契約を結び、植付の面積、本数まで管理し、生産量の全てを買取ります。

日本たばこ産業が買入れた国産葉たばこは2.9万トン（昭和60年11.6万トン、平成14年5.8万トン）輸入葉たばこは5.8万トン（昭和60年6万トン、平成14年8.7万トン）ですが、国内たばこ事業におきましては近年健康に関する意識の高まり、喫煙をめぐる規制の強化等の要因を背景に、需要の減少傾向が続いている状況の下、更に過去に例のない大幅な税率の引き上げが実施され、増税、定価改定後の販売数量は前年比で約20%の大幅な減少となることが見込まれ「葉たばこの来年作において廃作の希望を募る、それに応じて廃作の意思確認を行い、廃作する者に対しては所要の措置を講ずる」と定められています。

小売業

小売販売店は許可制で、全国に27万9577店あります。消費者は国産、輸入たばこ共、小売店から購入しなければなりません。

消費者

喫煙者率（平成22年）

男38.2%、女10.9%、全体で23.4%で、現在は少し高くなっているそうです。日本におけるたばこに関する概観は以上の通りですが、喫煙者にとっては今後ますます厳しくなることが予測されます。

奉仕を通じて平和を

2013～2014年度 理事・役員及委員会組織表

理事	会長	石崎 克弘	会計	本田 智教
会長エレクト		田中 慶一	副会計	瀬川 昇
副会長		青木 建雄	会計監事	阪本 勝彦
クラブ奉仕担当理事		清水 大吾	第一副幹事	本田 智教
職業奉仕担当理事		榎原 一滋	第二副幹事	荻田 倫也
社会奉仕担当理事		大藤 辰弘	副SAA	宮川藤一郎
国際奉仕担当理事		長屋 興	副SAA	中堀 和英
新世代奉仕担当理事		木田 昌宏	副SAA	西村 元秀
幹事		井伊圭一郎	副SAA	荻田 倫也
SAA		橋本 徹也	副SAA	山岡英次郎

委員会名	委員長	副委員長	委員		
クラブ奉仕	清水 大吾	杵本日出夫			
出 席	澤井 正寛	吉田 一雄			
クラブ会報	田中 孝男	村井 正雄	水間 正一	郷上 勲	
(雑誌・広報)					
親睦活動	紙谷 幸弘	橋本 芳信	西村 元秀	高木久美子	瀬川 昇
			郷上 勲		
会員増強	河邊 哲郎	小川 勉	瀧川 紀征		
(会員選考・職業分類)					
プログラム	高木久美子	阪本 勝彦			
記録 (IT含む)	杵本日出夫	水間 正一	仲辻 章		
研修情報・規定	尾家 亮	鈴木 基弘			
音楽	澁谷 清明	新井 清	毛利征一郎		
職業奉仕	榎原 一滋	家村 武志	阪本 勝彦		
社会奉仕	大藤 辰弘	澁谷 清明	中堀 和英	村井 正雄	
(環境保全)					
青少年	吉田 一雄	青木 建雄			
交通問題特別	毛利征一郎	瀧川 紀征			
国際奉仕	長屋 興	小林 哲	矢倉 昌子	岡 信行	
ロータリー財団	由上 時善	山岡英次郎	島田 重樹		
米山記念奨学会	荻田 倫也	田中 孝男	尾家 亮		
世界社会奉仕	橋本 芳信	阿部 吉秀	由上 時善		
(国際社会奉仕)					
青少年交換	伊藤 泰充	永田 昌範	梶山 高志		
新世代奉仕	木田 昌宏	田中 慶一	坂口 道倫		

第2660地区委員

- ・国際奉仕委員会 小林 哲
- ・国際奉仕委員会 木田 昌宏
- ・財団法人道的補助金委員会 長屋 興